

「効果的な海外広報のあり方」に関する講演会を開催

開催日：2019年2月21日(木)

場 所：経団連会館

講 師：杉田 敏 NHKラジオ「実践ビジネス英語」講師、昭和女子大学客員教授

経済広報センターは2月21日、東京・大手町の経団連会館で、30年以上にわたりNHKラジオ「ビジネス英語」の講師を務めてきた杉田敏氏を招き、「効果的な海外広報のあり方」に関する講演会を開催した。

日本企業のグローバルな事業展開が進むなか、メディア対応を中心とする海外広報活動の重要性が増し、喫緊の経営課題の1つともなっている。杉田氏は、「海外広報における6つの大罪」として、①優先順位が定まっていない②調査・分析志向に欠けている③予算が非現実的である④言語の品質管理ができていない⑤スポークスパーソンがない⑥異文化に対するセンシティブリティが欠如している——の諸点を取り上げて説明した。

特に、「優先順位が定まっていない」に関連して、広報活動を本社からコントロールするか、海外の拠点に任せるかの判断が重要であると指摘した。また、「異文化に対するセンシティブリティの欠如」については、万国共通の「常識」などなく、SNSなどで炎上した場合の危機管理が重要であると説いた。

同講演会には約130名が参加し、メールを活用したリアルタイムでのコミュニケーションもとられ、活発な質疑応答が行われた。

以 上

